

# 令和 4 年度事業報告

## 社会福祉法人 尼崎武庫川園

### 1 令和 4 年度事業総括

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、各入所施設においてご利用者及び職員含めて 10 名以上が感染するクラスターが複数回にわたり発生した。高齢や基礎疾患をお持ちの方で酸素吸入が必要な状態となった方がおられたが、幸いにもお亡くなりになるようなことはなかった。通所施設でも短期間の休園を伴う感染があったほか、入所施設の職員が多数感染したことによる応援体制を組んだことで 7 月に 13 日間の休園期間があった。令和 3 年度に続き通所施設の利用控え、ショートステイの受け入れ休止などがあり、全体の収入への影響が少なからずあった。

第 2 松の園では、2 階のバルコニー手摺等の老朽化により一部損傷度が高く、破損によるご利用者の転落事故等につながりかねないと判断し、足場を組んでの工事が必要となることから外壁塗装工事を含めた修繕を緊急的に実施した。

今年度から法人全体の虐待防止等委員会を立ち上げ、9 月には第 1 回の委員会を開催した。各事業所における前年度の虐待及び身体拘束事例の報告を行い、情報を共有するとともに再発防止や拘束廃止に向けた取り組みの推進について啓発を進めることを確認した。

次に事業計画に沿った取り組み状況について報告する。武庫アルテンハイムの収支改善の継続については、6 月及び 9 月に委員会を開催し、改善状況について情報を共有するようにした。4～7 月にかけて一定の入所者の確保や前年に比べて収入の伸びがみられることから、将来的な改修に向けた議論を始めていくことが妥当と判断し、10 月及び 11 月の理事会、評議員会で改善状況の報告と今後の方針について説明を行った。12 月には設計業者 2 社へ敷地内改築の可能性を含め、プラン及び費用の概算についてプロポーザル方式で依頼した。1 社は途中辞退となったが、3 月中旬になって 1 社のプランが提示された。委員会による設計業者との打ち合わせ及び質疑等を実施する予定とし、6 月の理事・評議員会へ提案することとしている。

通所事業の再編について、その趣旨と方向性についてすべてのご利用者・ご家族への説明を実施した後、現在利用しているサービスの変更、または利用する施設に変更が伴う予定のご利用者・ご家族に向けて個別に説明を行った。その後、それぞれの事業所での体験等を進めようとしていたが、相次ぐコロナ感染等により予定していた体験等が実施できない期間が多く、令和 5 年度の開始までに再編を完了させることができなかった。3 月には令和 5 年 10 月をめどに第 1 松の園を生活介護事業へ事業移行し、第 2 松の園の定員を 20 名へと移行すること

とし、対象のご利用者の異動も随時進めていくことを新たに説明した。

感染対策の継続について、令和3年度に引き続き感染予防対策を強化・推進し、各種感染症の予防及び感染発生時の対応の迅速化に努めた。施設及び法人との連携を図り職員の応援体制や衛生資材及び使い捨て食器等物品の調達をよりスムーズに行った。また、各事業所の状況について時間差なく情報共有することで感染拡大の防止に努めた。感染事例が複数発生したことで、職員のガウンテクニックや衛生物品の準備等比較的スムーズに対応することが可能となっていた。しかし、特に入所施設では高齢・障害を問わずご利用者の隔離体制や感染エリアのゾーニングに困難性があり、今後の課題となっている。

財政基盤の強化について、法人全体の将来に必要な施設整備及び設備整備の積立金を確保するべく、各施設において定員の維持、各種加算取得等に努めてきた。令和4年度はコロナの影響もあり、特に通所施設での収支が悪化し十分に積み立てることが困難であった。

地域交流・貢献について、コロナ禍において地域の方との交流を活発に行うことは非常に困難であった。武庫川園祭りは、本年度も地域の方と一緒にできなかったが、各施設をオンラインでつなぎ、事前に収録した利用者の皆さんのソーラン節を編集して鑑賞していただき、ビンゴ大会を行って楽しんでいただいた。また、西宮市民祭りにも紹介ビデオにより参加した。西宮市社協共生のまちづくり課との連携による段上地区施設交流会「だんだんミーツ段上」（ななくさ清光園・ななくさ学園・にしのみや聖徳園）において地域を巻き込んだ企画検討を行い、4月には春のイベントとして福祉体験型スタンプラリー「るんるんサクラウォーク」、10月には職員交流会としてポッチャ大会の実施、11月には甲武中学校とポッチャ交流会を行うなど情報交換・交流等に努めた。

相談支援等地域支援については、サービス等利用計画の作成及びモニタリング作成を中心とした計画相談支援事業を継続して行ってきた。法人内の他の相談支援機関を利用している方の中で、希望される方から少しずつ新規契約者を増やしている。他の相談支援事業との連携や法人内のサービス管理責任者との連携を図り、ご利用者の希望する暮らしやサービス提供が実現できるよう積極的に働きかけた。

人材の確保及び育成については、採用チームを中心に各種就職フェアへ参画し新卒者の採用に力を入れてきた。また、広報委員会との連携を深め、ホームページの定期的な更新や各施設での活動の様子をブログやインスタグラムで発信するなど福祉で働く魅力を伝えることにも力を入れてきた。新規正規採用者は新卒が大卒3名、法人内非正規職員からの正規登用は4名、年度中の中途採者4名となった。

人材育成については、主にオンラインを活用した法人研修の実施や外部研修への積極的な参加を行い、キャリアにあった研修機会の確保に努めた。採用時研修においては法人の理念を実現するためのプログラムを策定し、各施設長及び現場主任を担当者として実施した。

災害対策の強化について、近年増加している大雨や台風を想定した洪水警報発令時の避難、応援体制等の確認のため、図上総合防災訓練

を6月に行い、リーブ・フルーリー北側非常階段にて車いす利用者の垂直避難について実地訓練を行った。

職員の腰痛予防対策について、身体介護を要する施設職員の腰痛予防対策は年々重要度を増しているため、今年度からノーリフト（抱え上げない介護）の考え方を広めるよう徐々に啓発を強化している。武庫アルテンハイムでの床走行リフト及びスタンディングリフト導入やリーブ・フルーリーでの浴室リフト追加導入も行われ、職員にとってもご利用者にとっても安全で快適な介護環境の整備を進めている。また、衛生委員会による腰痛予防体操の啓発やその他転倒防止等の安全対策等を含め、介護・作業環境の改善に取り組んだ。

## 2 職員配置

常務理事 事務局長兼務	施設長	事務員 施設事務兼務		
1	6	2		

5年3月31日現在

## 3 法人主催研修

実施日	研修名	人数及び対象階層	地域
4月～5月	新人職員研修	4名 新規採用者	
5月	虐待防止研修	20名 全職員	
6月	役職研修	6名 主任・副主任	
7月16日	権利擁護研修	20名 全職員	
8月31日	リスクマネジメント	11名 全職員	
9月30日	接遇・マナー	16名 全職員	
10月14日	メンタルヘルス	16名 全職員	
11月14日	職場見学会	4名 新規採用者	
2月17日	実践報告会	20名 全職員	2
3月3日	実践報告会	21名 全職員	3

3月17日	実践報告会	14名 全職員	2
-------	-------	---------	---

#### 4 年間行事

月	行事内容
4月	1日 辞令交付式、法人新任研修 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
5月	16日 会計監査 25日 監事監査 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
6月	7日 第1回理事会（決算報告等） 23日 定時評議員会（決算報告等） 27日 武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
7月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
8月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
9月	15日 武庫アルテンハイム収支改善委員会 26日 虐待防止委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
10月	20日 第2回理事会（第一次補正予算） 22日 西宮市民祭り（紹介動画による参加） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
11月	2日 尼崎武庫川園祭り（オンライン開催） 8日 第2回評議員会（第一次補正予算） 18日 会計監査（中間期） 26日 正規職員登用試験実施 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
12月	5日 第3回理事会（就業規則一部改正） 7日 武庫アルテンハイム収支改善委員会 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
1月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
2月	委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）
3月	17日 第4回理事会（第2次補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度当初予算・就業規則等改正） 29日 第3回評議員会（第2次補正予算・令和5年度事業計画・令和5年度当初予算・就業規則等改正） 委員会（衛生、事故対応、広報、採用、感染）

# 松の園

## 1 令和4年度事業総括

4年度は、男性22人、女性23人、計45人満床でのスタートであった。60代男性ご利用者が2月に亡くなられたが、3月には第2松の園で希望されていた方が入所し、満床を維持した。入院や長期帰宅等で空床期間が長期化することもなかった。収入面では、障害区分の見直しを図り、順次12人の区分をあげることができた。約1700万円の増収となり事業収入は安定した。

2階厨房への水漏れで、3階男性浴室の修繕、男性フロア天窓の雨漏りによる工事を行った。加えて浴室天窓からの雨漏りや女性エリアの天窓の不具合も確認されており、適宜修繕工事を実施していく。

新型コロナウイルス感染予防対策としては、引き続き消毒液等を備蓄し、職員が不安にならないよう十分に備えた。12月27日から1月6日まで11名の利用者が感染し、クラスターとなったが、全員軽症で11日間の療養期間で終息させることができた。早期の隔離対応、適切な時期の集団PCR検査の判断が功を奏した。

ワクチン接種については嘱託医の協力もあり、ご利用者は全員年度内に5回接種を終えている。希望する職員にも同様に接種した。活動エリアを共有する通所ご利用者とは3年目ということもあり、日中活動での接触を極力避けることができています。双方ともに感染リスクを最小限に抑えることができた。

4年度も時機を見て専門学校生、大学生の実習を受け入れた。期間中だけでなく、前後2週間の健康観察と厳しい感染対策を求め実習に臨んでもらった。終了時には障害者施設への就職に興味を持ち、5年3月中より、松の園での就業が決まっている。

日中活動の中心は生産活動だが、昨年度98万円であった収入が92万円に減少した。新型コロナウイルス感染症の影響で請け負う量が年々減っていることに加え、年齢を重ねたご利用者が生産に携わる時間が短くなっている。ご利用者に支払える平均年間工賃は昨年度と同程度の、年額20,000円であった。十分な額とは言えないが、働いて対価を得るといことは、社会・経済活動に参加していることでもあり、とても有意義な活動だと認識している。松の園に入所を希望される方は、生産活動を主軸に置いていることを評価されており、生活にメリハリを持ち、作業に携わることを生きがいを感じていただきたい。

コロナ禍で行動制限の多い中、いきいきと暮らせるよう、ご利用者主体の日課をプログラムしている。ボランティアの方々力を借りて手芸や音楽、料理などの余暇も充実させた。また、毎月第4土曜日のバーベキュー、第2木曜日のお弁当の日を企画し、給食ではない食事を楽しんでいる。

備品に関しては、ご利用者のベッド・マットレスを一部新調して居住環境を整えた。身体状態が大きく変化した方が、このまま松の園で生活することができるのか、本人、家族、施設ともに熟考した。法人

内の高齢者施設又は身体障害者施設に転籍できるよう介護認定を受け、準備している。ライフステージにあった転籍がスムーズに実現できるよう望んでいる。介護設備が不十分な松の園で、ご利用者、職員共に体の負担が軽減できるよう、リフトや介護ベッド、シャワーチェア等をリースして対応している。

## 2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 (非常勤)	管理栄養士
1	1	1	1	1
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤	嘱託医 内科、精神科、歯 科、耳鼻咽喉科	ボランティア グループ 1 個人 2
1	10	10	4	

令和5年3月31日現在

## 3 内部・外部研修

	研修日	研修内容	参加
外	4月24日	自閉症eサービス 特性理解(支援員)	2
外	5月8日	自閉症eサービス 評価から支援へ(支援員)	3
内	5月15日～	権利擁護研修 虐待防止の視点(支援員)	1
外	5月25日	障害福祉新任研修(支援員)	1
外	5月29日	自閉症eサービス 構造化のアイデア(支援員)	3
外	6月12日	自閉症eサービス コミュニケーション(支援員)	3
外	6月26日	自閉症eサービス 問題行動の理解と対応(支援員)	3
外	7月2日	自閉症eサービス自閉症施設における高齢化対応(支援員)	2
外	7月10日11日	強度行動障害支援者養成研修 基礎(支援員)	2
外	8月24日25日	自閉症eサービス PECS 理論・実践(支援員)	1
外	9月12月5日間	サービス管理責任者基礎研修(支援員)	1
外	10月2日	自閉症eサービスグループホームの様々な暮らし(支援員)	1
外	10月14日15日	看護研修会 知的発達障害コース(看護師)	1

外	11月8日	苦情解決セミナー（支援員）	3
外	11月15日	BCP 策定・運用のポイント（支援員）	1
内	12月2日	サビ管ブラッシュアップ研修（支援員）	1
外	12月15日	障害のある人の生活習慣病（全職員）	23
内	12月16日	権利擁護研修（支援員）	2
外	1月18日	コロナ対策研修（看護師）	2
外	1月14日	自閉症 e サービス施設コンサルテーションの実務（支援員）	1
外	2月11～13日	行動援護従業者養成研修（支援員）	1
外	2月21日	高齢期の支援が変わる時（全職員）	23
外	3月14日	新型コロナウイルスには負けない（看護師）	1
外	3月23日	統合失調症を学ぶ（看護師）	1

#### 令和4年行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	5	お花見弁当	44
4月	23	バーベキュー①	40
5月	5	ゴールデンウイーク行事（ケーキバイキング）	35
5月	28	バーベキュー②	41
6月	8	お弁当会①	44
6月	20	運動会&おやつバイキング	41
6月	25	バーベキュー③	38
7月	7	七夕会&昼食会	44
7月	30	バーベキュー④	42
8月	11	松の園マーケット	43
8月	27	バーベキュー⑤	44
8月	30	夏祭り&盆踊り	45
9月	9	昼食会（手作り弁当）	45

9月	14	行楽弁当	42
9月	24	バーベキュー⑥	42
10月	13	お弁当会②	44
10月	19	ミニ運動会&焼き芋大会	45
10月	22	バーベキュー⑦	43
11月	2	武庫川園祭り	45
11月	10	お弁当会③	44
11月	26	バーベキュー⑧	38
12月	8	お弁当会	43
12月	14	クリスマス会（音楽祭）	44
12月	23	クリスマス会&食事会	42
12月	24	バーベキュー⑨	42
12	15	新年会（餅つき大会）	42
1月	22	バーベキュー⑩	44
2月	3	節分会	44
2月	9	昼食会	45
2月	25	バーベキュー⑪	41
3月	3	ひな祭り（昼食会・ケーキ）	44
3月	25	バーベキュー⑫	41

#### 毎月・毎週の行事

- ・誕生会・理美容・血圧体重測定・内科検診・精神科往診
- ・オーラルケア・おやつ作り（毎週）
- ・耳鼻科検診（年2回）・避難訓練（月1回）
- ・ミュージックセラピー（月2回）
- ・手芸教室（月2回）

## 5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	75,625
5月	85,488
6月	64,900
7月	73,755
8月	61,378
9月	80,463
10月	67,623
11月	77,413
12月	94,570
1月	87,294
2月	79,840
3月	73,700
合計	922,049

# カトレアの園

## 1 令和4年度事業総括

令和4年度は入所者43名通所者9名でスタートし、1名が亡くなり、1名退所された。新規入所者は1名にとどまった。コロナ対応が落ち着いた年度末よりショートステイでマッチングしており、1名が来年度入所予定。もう1名入所の方向で検討している。

新型コロナウイルス対応については7月職員9名利用者7名12月から1月にかけて職員8名利用者7名のクラスターが発生した。7月のクラスターはご利用者の陽性から始まり、職員が一気に離脱したため、勤務体制を維持することが難しく、男性職員を女性エリアに、また法人からの応援を男性エリアに派遣したことで、何とか療養期間を終えることができた。陽性になったご利用者1名が入院したが、経口摂取が難しくなり他施設へ入所された。12月からの期間は職員からの感染で人数は7月と変わらないが、職員の感染時期がずれていたため、女性職員のカバーのみで期間を終えることができた。8月グループホーム利用者陽性対応に入っていた職員が1名陽性になった。

環境整備について和室洋室化は実施できず次年度補助金申請を予定し実施していく。入浴機器については商品の情報収集と、改修のプラン提案を取り寄せた。浴室改修については大掛かりなものになるため、設備含めてさらに検討を重ねていく。次年度は、備品で介助負担軽減が見込めるものから導入を検討していく。

医療との連携については、24時間オンコール可能な医師に変更し、利用者の急変や、受診先の相談にも対応してもらえるようになった。またコロナ対応についても具体的なアドバイスや、検査実施が行えるようになり、医療面での連携が改善された。

精神障害をお持ちの方の対応について精神科訪問看護事業所とのつながりを作り、研修を行った。今後も継続して研修や事例検討を進めていく。

コロナ禍でも楽しんでいただく行事として、毎月食のイベントを行った。ボッチャについてはこれまで個人練習のみだったのをゲーム形式で行った。午後は1時間のレクリエーションやc a f e・個別対応など設定しているが介助のために十分な時間の確保が難しくなっている。

生活動作や姿勢に着目した生活リハビリを推進し、PTと支援員が連携し、24時間姿勢ケアの取り組みを進めている。

西宮市の「障害分野におけるロボット等導入支援事業補助金」を利用し、移乗サポートロボット「HUG」を2台導入した。「HUG」は移乗介助だけではなく、自然な立位姿勢に誘導できるため、ご利用者の体幹機能に影響があり、リフト対象者ではない方にも幅広く使用している。移乗介助が必要になったご利用者の居室に天井走行リフト1台導入した、

虐待防止委員会では「スピーチロック」をテーマにグループワーク

を行った。

西宮医師会看護専門学校から2日間の期間で合計14名の実習を初めて受け入れた。

2月ボイラーから風呂場までの給湯管の漏れが数か所あり、床下から外までの配管の入れ替えを行った。

12月より第2松の園の施設外就労を受け入れ、洗濯や清掃を担ってもらっている。

## 2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理 責任者	看護師	栄養士
1	1	1	3	1
理学療法士	支 援 員 常勤（内嘱託）	支 援 員 非常勤（内派遣）	清掃・運転 非常勤	
1	2 2（3）	1 1（6）	4	

令和5年3月31日現在

## 3 外部・内部研修

### 外部研修

実施日	研修名	参加人数
5月～10月	自閉症eサービス基本講座	2名
6月8日	バリアフリー展	3名
6月15日	統合失調症について	5名
6月17日	エルダー研修	2名
7月2日	ポジショニング研修	1名
7月12日	自傷行為について	2名
10月24日	だんだんミーツ段上職員交流ボッチャ	1名
12月1日	ケアテック大阪(福祉機器展)	2名
3月18・19日	24時間姿勢ケア	1名
3月31日	統合失調症の支援「事例を活用しての学び」	11名

### 内部研修

実施日	研修名	参加人数
6月10・17日	権利擁護研修	7名
10月	接遇研修	3名
12月14日27日	PPE研修	15名
2月9日	近畿身体障害者施設協議会研修	1名
2月17日	実践報告2松・松の園	2名
3月3日	実践報告カトレア・アルテン	8名
3月17日	実践報告リーブ・1松	3名

#### 4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	1日～17日	近隣の公園で花見	40名
	15日	ひまわり会総会	43名
	16日	段上るんるんサクラウォーク作品展 示	4名
	22日	春の行事	42名
5月	6日	おやつバイキング	43名
	28日	海鮮ちらし	41名
6月	24日	ピザパーティー	31名
7月	15日	スポーツ大会	48名
8月	26日	カトレア夏祭り	46名
9月	9日	食イベントかき氷	37名
	1日	オンラインマジックショー	17名
	30日	フルーツパーティー	45名
10月	10～26日	ドライブ企画	17名
	25・29日	オンラインマジックショー	42名
	28日	バーベキュー	45名
11月	2日	武庫川園まつり	43名
12月	2日	花火大会	38名
	16日	クリスマス会	48名
1月	13日	新年会	42名
2月	17日	選べるコンビニスイーツ	47名
3月	10日	お寿司パーティー	45名

# 武庫アルテンハイム

## 1 令和4年度事業総括

令和4年度は、法人の収支改善委員会の助言等を受け入居者獲得に動いた。8月・12月の新型コロナウイルス感染症によるクラスター等もあり、最終的に特養稼働率83%（平均49.4名）、短期入所稼働率49.9%（平均2.6名）であった。年末年始でのクラスター後の入居者確保が出来ず、目標定員数には届かなかった。土日に入る緊急ショートステイの相談が、そのまま新規入居につながる案件が増えてきている。ショートステイの長期利用をしていただきながら、入居を待っていただくという流れが出来つつあり、次年度もそのスタイルを維持していきたい。

8月と12月～1月と二度のクラスターがあり、特に年末年始のクラスターでは、利用者35名、職員14名の計49名の感染者が出た。利用者2名は基礎疾患があったため、早期に入院加療が出来たこともあり、新型コロナウイルスに感染して亡くなられる方が出なかったことは幸いであった。ただ、看取り期に入っていた利用者の方が感染解除される直前に息を引き取られた。亡くなられる前日より、ご家族の方にガウン等を着用してではあったが面会していただき、最期も介護職員・看護師とご家族とでご遺体を送り出すことが出来た。クラスター下ではあったが、ご家族と職員とで看取ることが出来たのは、今後のアルテンハイムでの介護を改めて考えることとなった。

法人の掲げた「ノーリフトポリシー」の理念を遅ればせながら取り組み始めた。県の補助金制度の活用、リフト業者と協力して年間計画を立てたが、二度のクラスターで研修計画等が頓挫し、職員向けの研修と機器類購入にとどまってしまった。次年度は、リフトを実際に介護現場に導入できるよう引き続き業者とともに職員への研修等を計画的に実施していく。

## 2 職員配置 ※派遣職員除く（3月末日で派遣職員は5名）

施設長	事務員	介護支援 専門員	看護師 (准看護師)	管理栄養士
1	2	1	3 (2)	1
理学療法士 (リープ兼務)	介護職員 常勤 (嘱託)	介護職員 非常勤(生活支援)	清掃業務 非常勤	生活相談員
1	15 (1)	9 (2)	2	1

5年3月31日現在

## 3 内部・外部研修

実施日	研修名	主催	参加者
7月17日	認知症介護 e ラーニングシステム	認知症介護・研究研修 仙台センター	1名
7月4日	高齢者看護に必要な感染対策の基本を学ぶ	兵庫県看護協会	1名
8月4日～	介護支援専門員更新研修	福祉人材研修センター	1名

5日			
7月12日	対人援助に効く心の免疫力を高めるワークショップ	全国県老人福祉事業協会	1名
7月23日、30日	第1種衛生管理者受験準備講習会	兵庫県中央労働センター	1名
8月19日	思いを伝えるコミュニケーション基礎研修	福祉人材研修センター	1名
8月31日	安全運転管理者講習	西宮市勤労会館	1名
10月7日	はじめてのアンガーマネジメント	兵庫県老人福祉事業協会	1名
10月12日 他3回	介護福祉士実習指導者講習会	兵庫県介護福祉士会	1名
10月27日	介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修	兵庫県老人福祉事業協会	3名
11月21日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	福祉人材研修センター	1名
12月2日	高齢者の生活を支える傾聴について	兵庫県老人福祉事業協会	1名
2月16日～17日	施設ケアマネジメント研修	福祉人材研修センター	1名
3月12日	認知症介護 e ラーニングシステム	認知症介護・研究研修仙台センター	1名

#### 4 年間行事

月	行 事	
4	・花見昼食会	48名
	・ミニ外出（桜花見、車窓観桜会）	12名
5	端午の節句会（マグロの解体ショー）、菖蒲湯入浴	48名
7	万代お買い物企画（計1回）	2名
9	・こばと聴覚特別支援学校交流会 ※オンラインで	48名
	・敬老会	48名
11	・コスモス見学外出	3名
	・法人祭り ※オンラインで	51名
12	クリスマス会・ゆず湯入浴	48名
1	新年会 ※施設内に設置した神社へのお参りのみ	50名
2	節分会・手作りおやつクッキング	49名
3	「食べたい食事を食べよう！」企画（デリバリー）	8名

# 第2松の園

## 1 令和4年度事業総括

令和4年度、第2松の園では1名こやの里特別支援学校の卒業生が新規契約し、利用契約36人でスタートした。

1日の平均利用者数は28.98人、定員35人に対して82.8%の利用率であった。前年度に比べ6.2%減少したのには、下記の影響があった。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令や感染拡大により在宅対応を希望された方は出勤として算定。

令和4年5月に男性利用者1名が松の園へ入所となり退所。6月に女性利用者1名が家庭の事情で、リーブフルーリーへ入所することになり退所。11月に女性利用者1名が生活介護利用の希望があり、第1松の園を利用されるとのことで退所。

令和5年3月に男性利用者1名が松の園に入所、女性利用者1名が再編に伴う利用事業の変更で退所となる。

生産活動に関して、今年度も営業の窓口として目標工賃達成指導員を配置し、パソコン・小型家電のリサイクル事業の準備、営業、運営を開始。ジョブステーション西宮からの作業や、単独では受注できない仕事を請け負うことができた。また、西宮市上下水道局より、引き続き水道メーター解体作業を請け負うこととなった。また、法人内施設の人出不足解消の為に清掃業務、リネン業務、洗車業務を請け負い、工賃増加を図ってきた。

令和4年度における平均工賃月額額は約5,400円。

外部講師による音楽療法を昨年度より継続して実施し、各ご利用者に月1回程度参加できるように実施。感染予防対策の為に、小グループを設定して分散しての開催、感染拡大が懸念される状況ではオンラインで開催し意欲的に参加され毎月の活動を楽しみにされているご利用者も多くみられる。

職員体制については、3月にパート職員1名が自己都合により退職。嘱託職員が3月末で第1松の園に異動となる。

不良品の発生に伴う検品作業、体調不良等による有給利用、作業の準備、片付け、梱包、事務員の事務作業、行事の準備、新型コロナウイルス陽性者発生に伴う対応などで超過勤務が発生、令和4年度合計で360時間の超過勤務が発生した。

感染症対応について、新型コロナウイルス陽性者は5月に職員1名、7月にご利用者5名、8月に職員1名、12月に職員1名、1月にご利用者1名が判明し、感染状況に応じて休園や健康観察期間設定などの対応をおこなった。また、7月に入所施設でクラスター発生に伴い職員の応援対応する為、13日間の休園をおこなった。

施設整備では空調機器の故障に伴い交換工事、外壁・バルコニー部において経年劣化によるコンクリートの割れや破片落下等があり外壁補修工事をおこなった。

## 2 職員配置

施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活支援員	目標工賃 達成指導員
1	1	1	1	1
職業指導員 常勤（内嘱託）	職業指導員 非常勤			
5（1）	5			

令和5年3月31日現在

## 3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月～3月	自閉症eサービス研修（計10回）	2
5月16日	チームアプローチ	1
5月21日	虐待防止（通所）	6
6月13日	リーダーシップ研修	1
6月17日	役職者研修	1
7月16日	権利擁護	4
8月31日	リスクマネジメント	1
9月1日～30日	組織マネジメント基礎講座	1
9月30日	接遇	2
10月14日	メンタルヘルス	2
10月26日	福祉的就労と日中サービスの支援	1
11月30日～2日	応急手当普及員	1
12月3日	サービス管理責任者研修（法人）	1
2月17日	西宮市事業系一般廃棄物研修会	1
2月～3月	尼崎武庫川園 実践報告会	1
3月6日	強度行動障害 実践報告	2
3月12日	知的障害の認知症支援について	2

## 4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	1日	入所式	33名
4月	8日	お花見	34名
5月	24日～ 25日	健康診断	28名
5月	27日	季節行事（おやつ作り）	31名
6月	10日	バーベキュー	31名
7月	7日	季節行事（七夕）	30名

8月	10日	大掃除	18名
8月	26日	夏祭り	29名
11月	2日	武庫川園祭り	32名
	7日	夙川小学校作品展見学	4名
	18日	インフルエンザ予防接種	26名
12月	9日	クリスマス会	31名
	28日	大掃除	30名
1月	7日	新年会	23名
2月	3日	節分会	28名
3月	3日	ひな祭り撮影会	30名
	31日	お花見	30名

## 5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	141,329
5月	119,993
6月	183,148
7月	135,940
8月	125,909
9月	167,080
10月	300,361
11月	259,299
12月	179,145
1月	171,058
2月	185,908
3月	237,480
合計	2,206,650

# リーブ・フルーリー

## 1 令和4年度事業総括

令和4年度は9月に女性利用者1名が亡くされるといった悲しいことが起こった。令和3年度終盤に空床となっていた女性1床は6月に入所者が決まり、9月にご利用者の逝去で空床となった1床については12月に入所となる。令和4年度終了時には満床の状態である。令和4年度は新型コロナウイルスのクラスター発生時に複数名のご利用者に自宅待機をお願いしたこともあり、生活介護事業における年間の平均利用者数は47.8人から47.0人となった。

令和4年7月～8月・11月～12月に男性女性フロアで新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまい、長期に渡り療養、隔離対応を行った。女性階で起きたクラスターでは、基礎疾患のある利用者2名が肺炎を伴う中等症となったが、入院はできず施設での療養を余儀なくされる。感染されたご利用者は男性女性共に大事には至らず、男性階で起きたクラスターは約10日間、女性階は約25日間で隔離解除ができた。その後、後遺症と思われる症状の方はいない。

短期入所については、新型コロナウイルスのクラスター発生の影響によりご利用していただけない時期が一定期間あったこと、染拡大防止のために利用を控えているご家庭もあった。ただ、法人内外の短期入所のニーズは高く、延べ利用者数は前年を上回る。過去5年間の延べ利用者数の推移は以下のようになっている。

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
人 数	1330人	1440人	843人	260人	484人

新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた日帰り・一泊旅行は中止となった。様々な制限をかけざるを得ない期間が多く、ご利用者の多くはストレスの高い生活を強いられることとなった。中でも、感染対策を行いながらの少人数の外出やドライブ等、コロナ対策のノウハウを活かしながらご利用者が楽しみとされている外出活動を実施した。その他、施設内で楽しめる活動や小グループでの活動について、コロナ対策に合わせた形での実施をする。感染者の多い時期にはオンラインを活用し、ご利用者の楽しみにされている音楽療法を行う。換気や席の配列を工夫し、一度の参加人数も増やして継続する。

設備備品の更新について、当初予定していた食堂消毒保管庫の更新・男性階居室のフローリングの貼り換え3室行った。その他、各階における環境整備、備品等の改修は都度行っている。また、立位の難しくなっている利用者向けにスタンディングリフトの導入をし、活用している。その他、対象となる利用者に向けての活用をすすめている。

ご利用者の健康管理では、協力医療機関及び嘱託医との連携により疾病の早期発見・早期治療に努め、感染症予防措置の強化などに取り組んだ。高齢に伴う認知症等の症状が出ているご利用者もおられ、今後、現場での対応についての更なる専門知識が必要となってくる。専門医や医療機関とも引き続き協力関係の強化を図っていく。

ご利用者への支援の中で、1件不適切事案と思われる事案があり、当該職員、

関係職員に聞き取りを行い、西宮市に不適切支援事案として報告を行った。西宮市からも聞きとり調査を行っていただき、この事案は心理的虐待にあたるとして改善指導を受ける。複数回の権利擁護についての内部研修、現場で行っている支援が果たして適切なのかについてのグループ討議、オンデマンド動画を活用した職員の権利擁護意識を高める取り組みを行い、職員資質の底上げと再発防止に努めた。

## 2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師	管理栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（嘱託）	支援員 非常勤	その他	
1	19（2）	12	1	

4年3月31日現在

## 3 内部・外部研修

### <外部>

実施日	研修名	参加人数
5月15日	チームアプローチ実践研修	1名（支援員）
6月1日	福祉従事者新任研修	1名（支援員）
7月1日	職場研修推進セミナー	1名（支援員）
7月15日	OJTリーダー養成研修	1名（支援員）
7月29日・11月1日	OJTリーダー養成研修	1名（支援員）
8月20日	新型コロナウイルス対応	1名（看護師）
9月11日	栄養ケアマネジメント研修	1名（栄養士）
9月20日	リフトリーダー研修	1名（支援員）
9月20日	管理職研修	1名（施設長）
9月21日	リーダーシップ研修	1名（支援員）
11月28日	強度行動障害養成研修	2名（支援員）
1月16日	サービス管理者更新研修	1名（サビ管）

### <内部>

実施日	研修名	参加人数
5月25日	権利擁護研修「グレー支援について」	10名
6月23日	感染症関連について	15名

9月4日・9月15	クラスター発生後の感染対策見直し	15名
10月27日	感染症関連について	15名
12月15日～	権利擁護について（オンデマンド視聴）	のべ30名
2月～	救急救命講習	1ヶ月に3名ずつ受講中

\* コロナ対応関連の内部研修は随時実施

#### 4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	7日	花見	48人
6月	29日	行ったつもり旅行（北海道）	48人
7月	3月まで	ふらっと外出（感染状況に合わせて実施）	49人
9月	21日	肉祭り・花火大会	48人
10月	25日	ハロウィン	50人
11月	2日	法人祭	50人
12月	22日	クリスマス会	49人
1月	4日～	初詣外出（複数日で実施）	50人
2月	2日	節分会	50人
3月	23日	お楽しみ会・食事会	49人

# 第1松の園

## 1 令和4年度事業総括

60代の利用者が療養中で1年間ご利用がなかったための退所となり、新規卒業生1人を加え10代2名から60代まで46名の契約で開始した。年度途中で入所に変更が1名、2松からの移行が1名、送迎の不便さから他事業所の利用のため、2名が週1~2回の利用に減少した。またコロナ下での法人入所施設クラスター対応に職員応援をするため休園したことや利用控えで、定員に対する登園率は83.6パーセントで昨年比2パーセント減となった。「在宅支援」などで事業継続を行い大幅な減収とはならなかったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け2年連続の赤字決算となった。

新型コロナウイルス感染対策3年目となり、基本的な感染対策のほかに検査の徹底・仕切りや個人機の増設、補助金を活用し体温の自動測定機を導入し、利用者自らが測定し、記入するという自立した感染対策も行った。12月に個別送迎車の利用者が軽度の風邪症状となりクラスターが発生した。マニュアルを見直し迅速な情報伝達と役職者判断の徹底を行うこととした。

ご利用者の活動は、再編説明会の後ニーズ把握・アセスメントから体験交流を行った。コロナで何度もストップしたため事業変更の時期を2023年10月に延期としたが、体験交流はご利用者にとって新鮮な感想を持ち、「何をしていきたいのか」将来を考える場になっている。事業活動は、改めてどのご利用者にもどのようなニーズがあるのか考えるきっかけにもなっている。そんな声を聴きながら行事に取り組むことができた。ミニミニスポーツ大会・季節のお弁当・作品展・地域販売会・新春ビンゴ大会・1年間の行事をパワーポイントでまとめ、ご利用者には楽しかった行事の上位3位を選んでいただいた。投票・選択・応募などできることで力を発揮していただいた。日常活動では健康対策として毎日のウォーキングや風船バレーなどの運動を行うようにし、人とつながりを作るのが難しいとされている方も参加することで新しい関係ができてきている。

作業開拓はできず、作業は縮小傾向にあったが、自主製品の注文にご家族が協力していただけたことや地域販売会などで作業工賃を維持することができた。「松の実」の改修・片付けもご利用者と一緒に行ったことで、利用のアイデアを出していくところまで行った。

広報活動として毎月の園だよりと職員全員がかかわるブログ更新を続け、令和4年度もホームページを見て、近隣地域の特別支援学校生徒の家族の見学や実習につながった。

虐待防止のための全員研修2回・接遇研修朝礼での読み合わせなどで職員の意識の向上を図った。発達障害コンサルテーションや音楽療法などを入れて専門家による支援の補助で資質の向上を行ってきたが、今年度も職場風土に大きな課題を残した。人事異動時から法人が介入して全体の課題として取り組みが継続中である。

## 2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理責任者	看護師パート	栄養士
1	1	1	(1)	0
理学療法士非常勤	支援員常勤	支援員非常勤		
0	8	5		

令和5年3月31日現在

## 3 外部・内部研修 下記以外に知的障害者協会オンライン研修

職員各2回

外	5月6月	自閉症eサービス研修	支援員1名
外	5月	障害福祉業界の未来とその課題	支援員1名
内	5月	虐待防止	支援員4名
外	5月	自閉症入門講座	支援員1名
外	6月	発達障害のある人の精神科医療とのかかわり	施設長
内	6月	役職研修	副主任
内	7月	権利擁護	支援員6名
内	8月	リスクマネジメント	支援員2名
外	9月	障害制度から介護保険へ移行ケース	副主任
外	9月11月	サービス管理責任者基礎研修	支援員1名
外	9月10月	行動援護従事者養成研修	支援員2名
内	9月	接遇	支援員3名
内	10月	メンタルヘルス	支援員2名
外	11月	発達障害のある人への標準支援を考える	支援員1名
外	11月	障害特性の理解・余暇支援の実践事例	支援員1名
外	11月	知的障害を対象とした応用分析学に基づく支援	支援員1名
外	12月	一羊会実践報告会	支援員1名
内	2月3月	実践報告会	支援員5名
外	2月	高齢知的障害者への支援について	支援員1名

外	3月	強度行動障害スーパーバイザー養成事業実践報告	支援員1名
---	----	------------------------	-------

#### 4 年間行事

月	行事内容	参加人数
4月	お花見弁当	39
5月	青葉食事会	39
6月	冷たいおやつ会	44
6月	定期健康診断	31
7月	七夕作品展	全員
8月	ミニ夏祭り	32
9月	ミニミニスポーツ大会	41
11月	第1松の園マーケット	6
12月	クリスマス会	28
1月	新年会	34
2月	節分おやつ・壁画	43
3月	ひな祭りおやつ・壁画	45
3月	1年のわくわく発表会	43

毎月 誕生会 避難訓練

#### 5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	105,701
5月	108,654
6月	138,465
7月	195,796
8月	76,750
9月	110,782

10 月	103,188
11 月	146,882
12 月	144,756
1 月	103,590
2 月	127,414
3 月	94,839
合 計	1,456,817

# こころ&つばさ

## 1 令和4年度事業総括

現在男性3名女性1名のご利用者が生活されている。

新規入所は3名候補があり、1名はカトレアで体験利用され、1名は第2松の園のご利用者で2回体験宿泊を行った。今後相談支援事業所と連携し入所移行をすすめていく。

コロナについて7月23日から男性職員1名利用者3名が陽性となる。日中はヘルパー事業所、夜間はカトレア職員とグループホーム職員で対応。8月には女性利用者1名が陽性となり、グループホームスタッフ2名とカトレア職員1名で夜間対応。日中はヘルパー事業所・カトレアから支援に入った。ヘルパー事業所の職員にも感染対策についてのアドバイスをを行った。他の利用者への感染はなかったが、応援に入ったカトレア職員1名が陽性になった。

男性利用者1名が4月に尿路感染、9月イレウスで入院された。以前から訪問看護、訪問診療が入っていたが、9月の入院から24時間対応できる訪問診療に変更している。

12月以前から自立生活を目指していたご利用者2名が一人暮らしに移行された。

## 2 職員配置

管理者	サービス管理 責任者	支援員 非常勤
1名	1名	14名

令和5年3月31日現在

# かがやきステーション

## 1 令和4年度事業総括

法人内通所利用者33名・法人内入所利用者61名・法人外サービス利用者4名・一般就労1名のサービス等利用計画支援、サービス等継続支援を行った。死亡による利用者減があったが、法人内利用者の新規受け入れにより契約者数は増えている。サービス利用によって本人らしい生活が成り立つような支援体制作りを他の関係機関と連携を取りながら行った。

令和3年10月より体制が変わり、管理者兼相談支援員1名、相談支援員兼他施設職員1名の2人体制となった。法人内における将来的な相談支援事業の在り方についての検討は継続中である。

令和4年度は引き続きコロナ禍ということもあって、電話による面談を中心に行った。法人外のご利用者に対しては感染状況をみながら自宅や利用している通所の事業所を訪問し、サービス担当者会議を行った。

通所施設で新型コロナウイルス感染症の陽性者がわかり急遽休園することがあったが、日中自宅で過ごす事が難しい方に対しては別の事業所を緊急的に利用できるよう調整を行った。

入所施設利用者の「働きたい」「地域で暮らしたい」「充実した余暇活動をしたい」などのニーズに合わせた支援の調整を法人内や他の事業所とも連携をとってきたが、コロナ禍で一時中断している。

第1松の園と第2松の園の再編において面談等を行いスムーズな移行ができるよう調整を行った。移行が決定した方に対しては新たなサービス等利用計画と申請書類を作成した。

入所施設で空きができた時、入所希望者の情報の整理を行い入所者の選定のサポートを行った。入所者が決まった後はご家族に連絡を行い入所日の調整や聞き取りの面談に立ち会った。

ご家族の高齢化に伴い申請書類の提出が難しくなってきた方には書類の作成、提出の代行を行った。

法人内利用者でかがやきステーションへの移行を希望する方には他の相談支援事業者から変更を受け付け、新規利用者の獲得につながった。

強度行動障害のある方で通所事業所のみでは対応が難しかった為、外部のコンサルテーション機関に依頼し日程の調整などを行った。支援会議にも参加し支援方法の検討を行った。その後ご家族、市役所の担当者と話し合いも行った。

定期的に西宮市自立支援協議会のあんしん窓口連絡会（市内の相談支援員が集まる会議）に参加し、研修の受講、情報共有、居宅介護支援事業所との連携や必要なサービスに結びつけるための提言を行ってきた。

障害者虐待防止研修を受講し権利擁護の意識を高める事ができた。

## 2 職員配置

管理者兼相談支援員	相談支援員（他施設職員と兼務）
1	1

令和5年3月31日現在

## 3 外部・内部研修

実施月	研修名	参加人数
5月	第2回65歳問題！障害制度から介護保険制度への移行ケース	1
7月	医療と福祉の連携の現状と私の考えている事	1
7月	担当ケースの病気をよく知りケアに活かす（パーキンソン病）	1
7月	法人内研修（利用者の権利擁護と意思決定支援）	1
7月	知ると楽しい、強度行動障害の支援	1
8月	発達凸凹の理解と支援そして成長	1
8月	現任研修	1
8月	障害のあるお子様が自分らしい人生を実現するために準備する事	1
9月	第3回65歳問題！障害制度から介護保険制度への移行ケース	1
10月	障害者虐待防止研修	1
12月	一羊会オンライン実践報告会	1
12月	相談支援専門コース別研修 意思決定支援	1
12月	福祉職の為の成年後見制度	1
1月	自然災害に対する事業継続計画 BCP	1
1月	第4回65歳問題！障害制度から介護保険制度への移行ケース	1
2月	医療的ケア児の理解と私たちができる支援	1
2月	重度・高齢知的障がい者への支援	1
2月	医療的ケア児の理解と私たちができる支援	1
3月	強度行動障害者スーパーバイザー養成事業における実践の報告	1